

SAMPLE

特集レポート No. 048

海運業界におけるアライアンスの動向

Strictly Confidential



2017年 6月28日

はじめに

- 海運業界ではコンテナ船の輸送量に対して、船腹量(船の貨物を積み込む部分)の増加量が大きくなったことで、需給のバランスが崩れて供給過剰の状態が顕著となっている
- そのような状況の中でコンテナ船社はコスト削減とグローバルにおける競争力の向上を目的にアライアンスの設立を進めており、特に金融危機以後はアライアンスの再編の動きが激しくなっている
- 本レポートでは、海運業界のアライアンスの背景と目的を整理した上で、今後の業界の動向について考察をおこなう。また、コンテナ船事業の統合に合意している邦船3社の近年の取組についても触れる

本資料の流れ



- I. 海運業界のアライアンスの現況
- II. アライアンスの背景と目的
- III. 今後の海運業界の展望

海運業界におけるアライアンス状況

- 海運業界ではアライアンスが世界的な規模で結成されている
 - 世界的なアライアンスとしては、「2Mアライアンス」、「オーシャン・アライアンス」、「ザ・アライアンス」の3つがある

アライアンスとは	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海運業界において「アライアンス」とは、定期コンテナ船社による世界規模の戦略的協定を指す ■ 共同運航や共同配船、船社間での船腹の相互供給、寄港地でのコンテナターミナルの共同利用と提携範囲は広い ■ 世界的なアライアンスとしては、「2Mアライアンス」、「オーシャン・アライアンス」、「ザ・アライアンス」の3つがある
----------	--

	2Mアライアンス	オーシャン・アライアンス	ザ・アライアンス
設立年月	2015年1月	2017年4月	2017年4月
加盟海運会社数	3社	4社	5社
コンテナ積載数* (2015年8月末時点)	6,559(千TEU)	5,476(千TEU)	3,122(千TEU)
航路	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア－欧州航路 ■ 大西洋横断航路 ■ 太平洋横断航路 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア－北欧州航路 ■ アジア－地中海航路 ■ アジア－北米東西岸航路 ■ 北米－北欧州航路 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア－欧州航路 ■ アジア－地中海航路 ■ アジア－北米東西岸航路 ■ 大西洋航路 ■ アジア－中東航路

注： *、 2015年8月末時点の加盟海運会社のコンテナ積載数の合計値。TEU(Twenty-foot Equivalent Unit)とは、貨物の容量のおおよそを表す単位であり、20フィートコンテナ1個分=1TEU

出所：日本船主協会「海運統計要覧」

2Mアライアンスの概要

- 2Mアライアンスは保有するコンテナ船の船腹面積、世界1位、2位のマースクラインとMSCによるアライアンスであり、アライアンスとしても世界最大の規模を誇る

2Mアライアンスについて

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高世界一の海運企業である、A.P. モラー・マースクの子会社であるマースクラインとマースクラインに次いで世界2位のコンテナ船の船腹面積を誇るMSCを中心としたアライアンスであり、加盟海運会社は少ないが、規模では世界トップである ■ 2016年には現代商船が「2M」と、戦略的協力関係となる「2M+H」の本契約を結ぶ形で加わっている
----	--

背景	<ul style="list-style-type: none"> ■ マースク、MSC、CMA-CGMの3社は2008年から北米航路で船腹共有協定を結んでいた ■ その他にも、3社での提携を強化しており、2013年には3社でP3ネットワークの結成を発表していたが、中国商務部の認可が得られず破談した ■ その直後に、マースクとMSCは即座に10年間の船腹共有協定を結び、「2M」を結成した
----	---

加盟海運会社およびコンテナ船運行状況*

	国籍	隻数	積載数 (単位: 千TEU)
マースクライン	デンマーク	715	3,571
MSC	スイス	472	2,610
現代商船	韓国	57	378
合計		1,244	6,559

注: * 2015年8月末時点のデータ。マースクラインには買収したハンブルク・スドとの合計値

出所: 日本船主協会「海運統計要覧」

オーシャン・アライアンスの概要

- 世界3位のコンテナ積載量を誇るCMA-CGMや中国の国有企業であるコスコが中心のアライアンス

オーシャン・アライアンスについて

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東西航路や中東・紅海航路を含め、4社で350隻・41ループを運航する ■ コスコは、中国の海運1位と2位の国有企業が合併することで発足しており、コンテナ船も含む船舶数は約1,100隻で世界第1位であり、2Mアライアンスに対抗できる体制となっている
----	--

背景	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界3位のコンテナ積載量を誇るCMA-CGMは2015年にCSCL(中海集装箱運輸)、UASC(アラビア湾岸6カ国合併)との間でオーシャン・スリー(O3)の結成を発表し、主要航路での提携を開始 ■ その後、UASCはハパグロイドと合併し、CSCLはコスコに買収され、アライアンス内の力関係に変化が生じた ■ そのため、CMA-CGMはオーシャン・スリー(O3)に代わって、コスコ、エバーグリーン、OOCLと「オーシャン・アライアンス」を結成する運びとなった
----	--

加盟海運会社およびコンテナ船運行状況*

	国籍	隻数	積載数 (単位: 千TEU)
CMA-CGM	フランス	527	2,330
コスコ	中国	309	1,612
エバーグリーン	台湾	199	961
OOCL	香港	106	573
合計		1,141	5,476

注: * 2015年8月末時点のデータ。CMA-CGMは買収したNOLの子会社APLとの合計値。コスコは合併したCSCLとの合計値

出所: 日本船主協会「海運統計要覧」

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

